

委員会行政視察報告書

議会運営委員会				
活動委員名				
戸来 伝 石橋義雄 久慈年和 江渡信貴 堰野端展雄 畑山親弘				
経 費 区 分				合計金額
1 研修費	2 自動車借上料	3 議長交際費	一人当たりの費用	
510,456 円		4,534 円	85,832 円	514,990 円
期 間	平成28年1月25日(月)～平成28年1月27日(水) 2泊3日			
視察事項	長野県茅野市 議会報告・意見交換会について			
	静岡県焼津市 議会改革の取り組みについて			
視 察 先	長野県茅野市			
	静岡県焼津市			

詳細は別添のとおり

議会運営委員会 調査視察報告書

議会運営委員長 戸 来 伝

平成28年1月25日（月）

長野県茅野市議会

項目：議会報告・意見交換会について

開催目的は、議会活動の状況を市民に報告することで、説明責任を果たすとともに、意見や要望を直接聴くことで、政策につなげること。

市内10地区のコミュニティセンターで開催し、居住地区に限らず全市民が対象。

内容は、議会のしくみの説明、定例会の報告、フリーディスカッション。

周知は、議会だより、ホームページ、コミュニティ放送、新聞への掲載。また、議員による声掛けもしている。

開催時の留意点は、執行機関の立場に置き換えての説明や答弁を行わないことで、当市と同様の方法だった。

開催後の処理方法についても、一覧表を作成し、行政に伝えるものや調査するものなどに分け対応しており、これも当市と同様だった。

議会報告会については、やはり人集めに苦勞しているようだった。回を重ねることで、魅力のあるものにしていければと感じた。

平成28年1月26日（火）

静岡県焼津市議会

項目：議会改革の取り組みについて

焼津市議会では平成23年3月に議会改革検討特別委員会を設置し、3年8カ月にわたり活動し、43回の委員会を開催している。当市も同年に議会改革特別委員会を設置し、64回の委員会を開催した。

検討項目はインターネット配信、議会報告会の開催、行政視察の報告の公開、反問権など、当市と同様であった。裏を返せば、これらを議論していかないと、時代に取り残されると言える。

改革の検討を進めた結果、議会基本条例を制定したとのこと。また、当市で議論になったものの実現しなかった、倫理条例も制定していた。

そのほか常任委員会単位でテーマを決めて調査や研究をして、政策提言として執行者側に提出するという取り組みもされていた。

現在、当市議会には議会改革について協議する特別委員会は設置されていないが、他市の遅れることのないよう、危機感を持って取り組まなければと感じた。

十和田市議会 議会運営委員会 先進地調査視察

石橋 義雄

H28/1/25 (月) ~H28/1/27 (水)

視察先 長野県茅野市・静岡県焼津市

報告

茅野市に行き、議会報告・市民との意見交換について研修した。議会は何をしているのか・・・議員は・・・そんな疑問に答えできれば。もっと身近な議会を目指し議会報告会を企画。市民の皆様からの意見を聞き、議員活動に活かしたいとの思いから意見交換会も合わせて開催。実施会場は市内10地区。参加人数は合計216人。意見の総数は約250件。行政に伝えたり、委員会等で協議した件数は73件

現在は女性団体の要望で開催したのと、市議会側から開催した2通りであるが、今後市民一人ひとりに、はがき等で連絡し開催していくなど年々少しでも確実に成功に向け改善していく思いで進めている。議会改選後でも新人議員に思いを託していきたいので、継承するシステムを構築していくそうである。十和田市議会においても市民との距離を少しでも縮めていくためには意見交換会・報告会を継続していく必要がある。

静岡県焼津市では議会改革の取り組みについて研修した。

議会改革検討特別委員会は、平成23年3月23日、焼津市議会の改革・活性化を強く進めていくとの共通認識の下、6人の委員でスタート。平成26年11月19日最終報告まで43回にわたり検討をおこなった。

市民に対して見える化の推進。出前議会など住民参加に力を入れる。議員政治倫理条例の制定。政策立案機能を向上させる仕組み作り。議会機能の強化や執行機関の監視・評価の充実に力を入れる等、理想とする議会の姿を考え、それを達成するための取り組みを作成した。また、これらを継続し改善することにより、次の世代に繋げていきたいと考えている。当市においても、条例はできたが、議会のあり方及び、議会機能の充実を図る方策等、調査研究を継続して進めていかなければならない。

平成28年 2月10日

議会運営委員会 先進地行政調査報告書

議会運営委員 久慈 年和

1. 調査年月日平成28年 1月25日(月)～27日(水)
2. 目的地と調査項目
 - ・目的地 1月25日(月) 長野県茅野市議会
調査時間 15時00分から16時30分
研修項目 (1) 議会報告と意見交換会について
 - ・目的地 1月26日(火) 静岡県焼津市議会
調査時間 14時00分から16時00分
研修項目 (1) 議会改革の取り組みについて
3. 日程 別紙、議会運営委員会先進地行政調査研修日程を参照
4. 参加者 議会運営委員会
委員長 戸来 伝
副委員長 石橋 義雄
委員 久慈 年和
委員 江渡 信貴
委員 堰野端 展雄
委員 畑山 親弘
議長 工藤 正廣
副議長 田中 重光

5. 調査報告書

<長野県茅野市議会>

議会報告と意見交換会について

説明者 茅野市議会歓迎挨拶 ⇒ 議会運営委員会 委員長 宮坂 武男
説明補佐 ⇒ 総務環境常任委員 両角 昌英
経済建設常任委員 山岸 正衛
経済建設常任委員 篠原 啓郎

平成28年 1月25日(月) 15時00分から16時30分

<行政調査項目概要>

茅野市は長野県中部、諏訪盆地の中央に位置し、八ヶ岳の豊かな自然に抱かれた高原都市です。特に、四季の美しい変化に富んだ蓼科高原(車山高原、白樺湖、蓼科、八ヶ岳)は、多くの文化人の別荘(一万戸の別荘がある)があり、文化の香り漂う高原リゾートとして、年間300万人もの観光客が全国から訪れている。

「縄文王国」のキャッチフレーズのとおり、いまから約5000年前、この地に縄文文化が咲いた。市内には、この時代を代表する国指定特別史跡「尖石遺跡」、国指定史跡の「上之段遺跡」、「駒形遺跡」など200箇所以上もの遺跡が発見されており、当時はかなりの人口があったと想像されている。

茅野市の概要	人口	55,405人
	一般会計予算額	232億7千万円
	議員定数	18人
	議員報酬	議長 435,000円 副議長 364,000円 議員 332,000円
	議員の任期	平成27年4月30日～31年4月29日
茅野市議会の構成（常任委員会）	総務環境委員会	（定数：6人以内）
	経済建設委員会	（定数：6人以内）
	福祉教育委員会	（定数：6人以内）
	予算決算委員会	（定数：18人）

茅野市議会では、平成26年から議会報告・意見交換会を開催しており、これまで10回開催されているほか、開催時にアンケート調査を実施しているが、参加者数の伸び悩みなどの課題が多い。

<開催目標> 議会活動の状況等を市民へ報告し、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望などを直接聴取し、政策・立案に結びつける。

<開催日時> 各定例会終了後、議会報告・意見交換会を開催している。

タイムスケジュール

午後7:00	(1分)	開会	司会（議運の委員長又は副委員長）
	(5分)	挨拶	議長又は副議長
	(5分)	自己紹介	出席議員×3分
	(15分)	議会報告	議会の役割機能×3分
			（議会だよりを中心に）常任委員会報告（4）×3分
	(30分)	フリーディスカッション報告（議会報告）	議員2名と参加者4～6名 6～8名×4～5テーブル
	(30分)	フリーディスカッション報告（議会・市政全般）	各テーブルから出た主要意見や事前に設定したテーマ
	(15分)	主要意見発表	4～5テーブル×3分
	(2分)	まとめ挨拶	議長又は副議長
午後8:45	(1分)	閉会	司会（議運の委員長又は副委員長）

* 全体を通して、1時間45分以内で収まるように努めている。

これまでの開催日と場所及び参加者数等（平成26年）

2月12日（水）午後7時～	宮川地区CC	38人	出席議員10人
5月13日（火）午後7時～	豊平地区CC	73人	出席議員10人
5月14日（水）午後7時～	ちの地区CC	13人	出席議員 9人
5月14日（水）午後7時～	北山地区CC	25人	出席議員 8人
8月 5日（火）午後7時～	玉川地区CC	5人	出席議員10人
8月 7日（木）午後7時～	米沢地区CC	11人	出席議員 9人
8月29日（金）午後2時～	家庭教育センター	37人	出席議員14人
	女団連主催		
11月25日（火）午後7時～	泉野地区CC	6人	出席議員 9人
11月25日（火）午後7時～	金沢地区CC	14人	出席議員 8人
11月26日（水）午後7時～	湖東地区CC	6人	出席議員 9人
11月26日（水）午後7時～	中大塩地区CC	25人	出席議員 8人

(CCはコミュニティセンター)

* 参加総数は、216人

議員在任最後の一年で10箇所で開催した。選挙(27年4月)前の開催は拙いので、11月に四箇所開催した。

議会に関するこれまでの意見

- ・議員報酬を下げるべきだ
- ・視察研修は慰安旅行では
- ・常任委員会の開催日程や一般質問内容をHPに掲載してほしい
- ・市民要望を把握し政策につなげる活動を
- ・報告でなく意見交換を主にやってほしい
- ・テーブル毎にテーマを絞ってほしい
- ・女性や若者の参加者が少ない。地域のことは女性のほうが関心があり、市政とのかかわりも深い。女性の参加を促すよう積極的な働きかけをしてほしい
- ・委員会報告の内容が何を伝えたいのか理解できない。グループ懇談は声が聞き取りづらく無理がある
- ・政務活動費が適切に使われているのか。市民の立場で報告書を出しているのか。視察した内容が市政に生かされているのか。
- ・一般質問について「ちの市議会だより」に掲載がない などなど

市政に関するこれまでの意見

- ・大雪の対応の見直しをしてほしい
- ・路線バスの廃止について、オンデマンドを継続して地域の足を確保してほしい
- ・住宅リフォームの補助内容拡大、期間の延長をしてほしい
- ・空き家の福祉利用をしてほしい
- ・人口減少に対する市の考え方は。子育てしやすい環境づくりの取り組みをしてほしい。現状では、産めない、育てられない。
- ・太陽光施設に関して条例化が必要だ。生活権の問題で景観か二者択一の問題ではない。
- ・縄文プロジェクトというが、それより人口減少と少子化のほうが大事だ。専門チームを作って対応してほしい
- ・少子化による保育園、小学校の統廃合が必要だ などなど

<行政調査の感想>

茅野市の議会の特徴は、一期目と二期目の議員が多かったこと。昨年、四月の市議会議員選挙で新人が7人が当選した。(前回の選挙では新人が8人)議員を三期経験すれば引退すると考える風土にあるようだ。

議会報告・意見交換会の開催時にアンケート調査を実施しており、多くの意見が出されていた。また、参加者が一箇所当たり約20名強で、議会の希望は30~40名なので予定より少なかったようだ。会場によっては議員の数より参加者が少ない会場もあった。

市民の参加者を増やすため、議会報告・意見交換会を議会棟大会議室を会場に2月11日の祝日の午後に開催する予定だ。終了後、議会棟を案内し、普段は入れない本会議場の議長席や市長席、議員席などに触れることができる。チラシを全戸に配布して参加者を募る。そのことは、女性や若者の参加者を増やす対策になりそうだ。

また、茅野市議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟が平成13年1月1日に結成され、結成以来、改選により議員が入れ替わっても、議員定数18名全員で会を構成し、毎年行われる長野県連絡協議会の総会・研修会に参加し研鑽を深めていることが印象に残った。

<静岡県焼津市議会>

議会改革の取り組みについて

説明者 静岡県焼津市議会歓迎挨拶 ⇒ 議会事務局

説明補佐 ⇒ 議会事務局

平成28年 1月26日(火) 14時00分から16時00分

<行政調査項目概要>

焼津市議会では、公平公正で開かれた議会づくりを推進するとともに、市民の考えを的確に把握し、適切な政策決定、また決定された政策の監視をし、議会自らも政策提言や政策立案を積極的に行うなど、市民に信頼された議会を目指し、議会基本条例と議員政治倫理条例を制定している。

焼津市の概要	人口	142,092人
	一般会計予算額	445億3千万円
	議員定数	21人
	議員報酬	議長 490,000円 副議長 426,300円 常任委員長及び議会運営委員長 406,700円 議員 401,800円
	議員の任期	平成27年2月22日～31年2月21日
焼津市議会の構成(常任委員会)	総務文教委員会 (定数:7人)	
	市民厚生委員会 (定数:7人)	
	建設経済委員会 (定数:7人)	
	(特別委員会) 議会改革検討特別委員会 (定数:6人)	
	新庁舎・新病院建設に関する調査特別委員会 (定数:7人)	

焼津市は、東京へ約193キロ、名古屋へ約173キロの地点にあり、その玄関口としてJR東海道本線に「焼津」と「西焼津」の2駅、東名高速道路焼津ICがある。静岡県の中央部で、北に高草山(501m)、東に駿河湾を臨み、西南は一望に広がる大井川流域の志太平野で、西に藤枝市、大井川を挟んで吉田町と島田市に接している。年間平均気温は16.5度、冬季の降雪もまれな温暖な気候で、面積は70.31km²、北部山間部を除き平坦な区域に約5万4千世帯、約14万2千人の市民が生活している。

<議会改革検討特別委員会>

・付議事項

地方分権時代に対応した議会のあり方及び議会機能の充実を図る方策などについての調査研究委員の定数 6人

・特別委員会開催日程

平成23年3月23日以来、26年11月19日まで、43回開催

・中間報告

第1回 平成24年2月 定例会 議案賛否の公表と行政視察報告の公開

第2回 平成25年2月 定例会 反問権と政策提言

・先進地行政視察

平成23年12月7日以来、26年7月10日まで、8回視察

・協議事項

(1) 開かれた市民参加の議会

① 見える化の推進

- ア) 議会だより、ホームページ、インターネット配信の検討
- イ) 本会議での一般質問のあり方
- ウ) 議会膨張の推進
- エ) 会議の公開基準
- オ) 議会報告会の開催
- カ) 休日・夜間議会の開催
- キ) 議案に対する議員の賛否の公開
- ク) 行政視察の報告の公開
- ケ) 当局側の反問権付与
- コ) 政務調査費の用途基準の見直し

② 住民参加

- ア) 出前議会、住民会議の開催
議会報告会の開催と併せて検討した
- イ) 市民の直面している課題の調査
政策提言の方法を検討していく中で、併せて検討した

(2) 公平・公正で活発な議論のできる議会

① 議員の政治倫理等の向上

政治倫理の向上のため、議員の政治倫理条例を制定した

② 政策立案機能の向上

- ア) 議員調査活動及び委員会調査活動の在り方
設定したテーマの最終報告書は、提言書として当局に提言することとした
- イ) 議員研修会の実施
各常任委員会で調査を実施していく中で、内容に沿った研修会を開催する
- ウ) 議員定数、議員報酬
当面は現状どおりとするが、今後、具体的に議会改革を推進し、取り組みの状況を踏まえ、再度検討する。
- エ) 議員間討議の導入
各常任委員会での調査を実施していく中で、議員間討議を取り入れることとした。
- オ) 第三者調査機関の積極導入
学識経験者による専門的調査、公聴会及び参考人制度を活用して議会の政策形成に反映させるよう努める。

(3) 市民の代表として責任ある議会

① 議会機能の強化

ア) 議会事務局の充実

地方分権による議会の機能拡大に伴い、法規等の専門職員が必要となる。事務局に法規担当職員の配置を当局に要望する。

イ) 予算決算特別委員会の設置

ウ) 議長の議会招集権、通年議会の導入

当面、現状どおり、年4回の定例会とする。

② 執行機関の監視と評価の充実

ア) 政策評価の実施

政策評価を実施し、具体的な評価方法は、今後、検討する。

・議会基本条例の制定

明文化し将来に残し、また、新しい地方自治の時代における市議会としての基本理念・基本方針を定め、市民・市の執行機関及び議会の関係を明らかにし、議員が活動する行動規範のため議会基本条例の制定した。

<行政調査の感想>

議会改革検討特別委員会は、先に議会基本条例を制定し、その条例に基づき具体的に議会改革を推進する「条例先行型」ではなく、できることから始める「改革先行型」の考えで解決策を行い、議会として実行してきた。しかし、議会基本条例の制定により、議会改革が終わったわけではなく、常に市民の意見、社会情勢の変化などを勘案し、議会運営に普段の評価と改善を行っている。今後、継続し議会改革の推進を図り、市民福祉の向上と市政の発展のため寄与していくこととしている。また、焼津市では市長も積極的に市民との座談会を、1年で60箇所も各地で開催しており、議会側の「議会報告と意見交換会」の必要性が問われていた。

焼津市では、市議会議員政治倫理条例を平成26年4月1日から施行している。焼津市議会では時間もかけず、スムーズに「政治倫理条例」を制定したようだが、十和田市議会で制定する場合は、充分、時間と議論が必要と思われる。

H28/1/25 (月) ~27 (水)

江渡信貴

視察先

- ① 長野県茅野市 議会報告・市民との意見交換について
- ② 静岡県焼津市 議会改革の取り組みについて

内容及び成果

①

市民の皆が持っている「みんなの力」を絆とし、「人も自然も元気で豊か躍動する高原都市」を目指している、長野県茅野市。人口は約5万5千5百人。一般会計予算は232億7千万の中堅都市です。

茅野市では、「議会報告・市民との意見交換」について担当議員の方々と意見交換をさせていただきました。

開催目的は、議会活動の状況等を市民へ報告し、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望等を直接聴取し、政策・立案に結びつけること。

実施会場は市内10地区で開催。また、他に女性団体連絡協議会からの要望により意見交換会も開催した。

実施内容は全体で1時間45分以内(1)議会報告。主に議会の役割等を中心に40分の時間を取った。(2)残りの時間をフリーディスカッションに費やした(4~5テーブル・議員2名と参加者4~6名)

意見交換をさせていただき感じたことは、当市でも問題になっている参加率の向上である。今以上市民に対し呼びかけ、意見交換会を成功させたいという意気込みが伝わった。

農村部の場合、若い方たちは仕事、家に帰ってくる・休日などは子育て等忙しい。日曜開催か？保育士を用意したら？

議会だよりに意見交換会の参加募集を出したが、いまいち反応がない。市の広報は見るから議会だよりと、市の広報を一冊にまとめる(織り込むコストも少なくなる)

今後はポスターを作り駅等、市民の皆様が集まる場所へ貼る。各家庭に回覧できるように、町内会に手配する。これらは応用可能である。

十和田市でも議員が地元への働きかけによる周知などしているが、議員同士で

の議論がまだまだ必要だと感じた。

そして、この仕組みを継続していくためには、議会報告の都度検証し、次に進めていかなければならない。

②

静岡県焼津市 議会改革の取り組みについて。

焼津市議会では、公平公正でひらかれた議会づくりを推進するとともに、市民の考えを的確に把握し、適切な政策決定、また決定された政策の監視をし、議会自らも政策提言や政策立案を積極的に行うなど市民に信頼された議会を目指し、議会基本条例・倫理条例制定をしている。これを踏まえ議会改革の取り組みについて調査・研究をしてきた。

最初に焼津市の概要を聞き、ご多聞に漏れずどこの自治体も人口減少への対応が急務であると痛感した。

議会の組織及び構成については、十和田市議会では 4 常任委員会に対し焼津市は 3 常任委員会であった。十和田市議会でも問題提起されていたこともあり、今後の参考事例になる。

特別委員会は「議会改革検討特別委員会」（議会基本条例の執行管理を行い更なる議会の活性化を図る方策等について、調査研究を行う）と「新庁舎・新病院建設に関する調査特別委員会」（新庁舎及び新病院の整備に向けた基本構想の策定が進められるにあたり、調査研究をおこなう）が設置されている。

会派別構成は 3 人以上であるが、議長の必要と認めた場合はこの限りではないとのこと。

議会運営でも、「質疑の方法・一般質問や代表質問について」「予算・決算の審査方法では、特別・企業会計は常任委員会に付託している」など参考になった。議会改革特別委員会は平成 23 年 3 月より平成 26 年 11 月の最終報告まで 43 回による検討を行い、本会議にて 2 回の中間報告がなされた。

1、開かれた市民参加の議会では「見えるかの推進」「住民参加」2、公平・公正で活発な議論の出来る議会では「議員の政治倫理等の向上」「政策立案機能の向上」3、市民の代表として責任のある議会では「議会機能の強化」「執行機関の監視・評価の充実」を検討した。その中、議会傍聴の促進では市民に対し配布資料に専門用語が入っている場合、注釈をつける。2 高校に出向いて議会報告を開催等、十和田市議会でも、もう一步踏み込んで考えることでお金をあまりかけず市民にわかりやすい議会改革が出来ると感じた。

視察研修報告

十和田市議会議員 堰野端 展雄

1、茅野市議会

① 議会報告・意見交換会について

- 任意の委員会である、広報広聴委員会内で議会報告部会をつくり、報告会の班編成、資料作りをしていることに驚きを感じた。当議会では、同じような議会だより編集委員会があるが、あくまで任意の委員会であるため、決定権はもちろん、提案権も無いに等しい。だからこそ、現時点で意見交換会の詳細は、議会運営の調整・決定機関である、議会運営委員会で決めている。茅野市議会の懐の大きさを感じた。
- 最初から他の議会を参考に、フリーディスカッションを小グループに分けて行っていた。参加人数にもよると思うが、この方が市民の方々も話しやすいように感じたので、今後当市でも検討してみたい。
- 何ととっても、1年に10回、10地区で開催したのには、恐れ入った。参加者はもちろんだが、議員も継続するべきとの意見が多いことに、茅野市議会の「市民への説明責任を果たす」という情熱を感じた。
- 要請により特定の団体（茅野市議会では女性団体）とも同じような議会報告・意見交換会を行ったとのことで、当議会でも地域開催だけではなく、今後検討してみたい。

2、焼津市議会

① 議会改革の取り組みについて

- どこにおいても議会改革は大変であることは言うまでもない。当議会の改革委員会は少し委員会開催が多すぎたかもしれない（最終報告までに64回）が焼津市議会においても、最終報告までに、43回委員会を開催していた。焼津市議会の改革は理想とする議会。基本的に自分たちの議会運営を見直すことを一番とした当市と大きく違うところであり、結果、良し悪しは別として、倫理条例もすんなり決まったとのこと。考え方はそれぞれである。

- 傍聴者への配布資料に専門用語が入っている場合に注釈を付けることを検討しているとのこと。面白い考えであり、検討してみたい。
- 休日・夜間議会は基本的に実施しない方向とのこと。他議会を調査したところ、傍聴者の少なさから、費用対効果の点でも、現時点での実施は考えていないとのこと。
- 政策提言を常任委員会単位で行うことには、驚きを感じた。委員会では所管事務事項は限定されるものの、委員個々の考えは別であり、それをまとめることは、容易でないと思う。会派ごとであればわかるのだが・・・やはり、理想とする議会を求めるところは、違うと考えさせられた。

また、政策評価も行うとのこと。議員それぞれ、評価は別であると思うのだが・・・そのやり方等、今後の動きを注目したい改革内容である。

12日 市議、12月1日予て同知(11月24日)に於て、漢口方面の行政
の改善(11月24日)の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)

神戶市 漢口市

漢口市は、人口及び、4万2千人に達する
面積は、1000km²。不平滑な地形、埃風の所(1)の目的(1)の目的(1)
は、1926年9月、北京都市の建設(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)
漢口市は、日本の都市と、類似の点と、ある(1)の目的(1)の目的(1)
日本の都市と同様、建設の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)
例、白地地帯の出現、南の江、都市の発展、行政の
改革(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)
組織、明瞭化、行政の改善(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)
行政の改善、最終報告(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)

2. 1月、東京、豊田、長野、群馬、三重、京都、大阪、四国、
神戶、広島、岡山、香川、愛媛、高松、徳島、松山、高知、佐賀、
熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄、自治体(1)の目的(1)の目的(1)

と、漢口市は、この目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)
目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)

行政の改善(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)

1. 漢口市は、人口、面積、地形、交通、行政、経済、社会、文化、教育、保健、福祉、環境、都市、建設、行政、改善、最終報告、自治体
2. 漢口市は、人口、面積、地形、交通、行政、経済、社会、文化、教育、保健、福祉、環境、都市、建設、行政、改善、最終報告、自治体
3. 漢口市は、人口、面積、地形、交通、行政、経済、社会、文化、教育、保健、福祉、環境、都市、建設、行政、改善、最終報告、自治体
4. 漢口市は、人口、面積、地形、交通、行政、経済、社会、文化、教育、保健、福祉、環境、都市、建設、行政、改善、最終報告、自治体
5. 漢口市は、人口、面積、地形、交通、行政、経済、社会、文化、教育、保健、福祉、環境、都市、建設、行政、改善、最終報告、自治体

行政の改善(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)の目的(1)

議会運営委員会行政視察報告

視察先 長野県茅野市

期 日 平成28年1月25日

テーマ 議会改革（報告会）について

ひらかれた議会の一貫として報告会が実施されているが、市民の参加が少なく、どのようにしたら参加してくれるか、一番の問題点で、その対策に苦慮している。

対策

- 1) 地区割を 10 分割にして規模を縮小して、議員も分散して対応。
- 2) 市の広報の最後のページに大きく報告会を掲載する。
- 3) チラシで毎戸に配布する。（当日は議場、議長室など案内する内容等を記載する）

まとめ

我が市も同様チラシ等の手法は効果的と思う。

十和田市議会 議長 工藤正廣

議会運営委員会行政視察報告

視察先 静岡県焼津市

期 日 平成 28 年 1 月 26 日

テーマ 議会改革（報告会）について

議会基本条例を策定する等二元代表制の基、議会の役割を継続して説明することが責務である。その一つとして議会報告会を実施、しかし市民参加が少ない。これは十和田市も同様である。

対策

- 1) 出前議会、住民会議の開催。
- 2) 市民の直面している課題を事前調査する。
- 3) 報告会に政策提言して意見を求める。
- 4) 地域出身議員が参加を募る。
- 5) 広報に掲載する。

まとめ

政策提言等、テーマを設定した報告会であれば市民参加が増える考え方であり、十和田市も検討の価値がある。

十和田市議会 議長 工藤正廣

議会運営委員会 視察報告書

田中重光

平成28年1月25日（月）長野県茅野市議会 項目：議会報告・意見交換会について

歓迎挨拶 茅野市議会 議会運営委員長 宮坂武男

対応職員 牛山係長、小田島主査

開催目的

議会活動の状況等を市民へ報告し、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望等を直接聴取し、政策・立案に結び付ける。

開催日時

各定例会終了後、議会報告・意見交換会を開催（具体的な日時は議会報告部会で案を検討し、広報広聴委員会に諮り決定）

実施会場および対象範囲

- (1)市内10地区（各地区コミュニティセンター）で開催
- (2)参加者は会場地区の市民に限定せず、全市民を対象

所感

当市議会では、開催時期を農繁期の兼ね合いや、報告内容を新年度予算の状況等としていることから5月にしている。茅野市では各定例会終了後に開催している点で感心させられた。

各議員による声掛けで参加者数を確保している点は、当市議会では特に行っていないことであり、興味深いものがあった。ただ、単に参加者が増えればいいのかという点では、難しい部分もあると考える。参加者が伸び悩んでいる原因は開催内容なのか、周知が足りないのか、時期が悪いのかなど、いろいろ検証する必要を感じた。

テーマを設けて意見交換することについては、あらかじめ開催地区の要望等を把握した上で、それだけに特化して行うのであれば有効と感じた。それ以外の場合は、テーマを設けずフリーの方が各分野にわたり幅広く意見を聴取できると考えます。

当市も茅野市も会場で出された意見等について、必要に応じて各常任委員会で調査をしており、市民の声を拾い上げ政策に反映させるという観点から、現時点で最良の方法と考えます。